2016年5月発行　発行／生活クラブ理事会　編集／ホームページ・広報委員会

やみー・やみー・やみー
Yummy³ 通信 NO.89
生活クラブ生活協同組合

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町913-3　TEL:0743-58-5225

4月供給高　4366.2万円（前年比116.4%）
組合員数　2987人　（前年比104.9%）

検索してみて
生活クラブ奈良

より参加しやすいしくみ作りへ
総代会の3つのポイント

組合員活動の新しい形〈コミュニティ〉

地区活動の見直しに伴って、2016年度は前年度までの地区の考え方や枠組みをいったん解消することになりました。新しい組合員活動の形として〈コミュニティ〉を創設し、同時にエリアという考え方を導入します。種々のルールはありますが、以前より自由に組合員が活動できるようになります。

消費委員会はじまります

消費委員会が、新しい目標を持って活動を始めます。2015年度期末の組合員数が3000名を超え、5000名に向けて一つのハードルを越えました。新しい仲間の定着とさらなる拡がりを求めて、新規組合員向けや未加入者にも来て頂けるような企画を実施していきます。産地の訪問や生産者との交流会、学習会を始め、

新しい試みとして「おおぜいの自主監査」にも取り組みます。

消費材としての「電力」

今年4月からの電力小売自由化によって、電気の購入先を自由に選べるようになりました。私達の生活クラブでも、組合員のための電力会社〈生活クラブエナジー〉から消費材として電力が購入できるようになり、関西では10月から一般家庭への供給が始まります。電源構成が明らかでサステイナブル〈持続可能〉な電力をみんなで購入し続ける事が、環境を守り、私達の〈未来〉へとつながります。年間を通して、電力購入を呼びかけていきます。（理事会）

2016年度通常総代会は6月20日(月)午前10時より大和郡山城ホールにて

10月から共同購入スタート！
電気の購入先をどう考える？

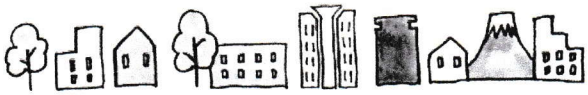
参考：「電力自由化がはじまります」自然エネルギーで豊かな日本を創ろう！アクション発行

この4月から電力の小売自由化がスタートしました。これまでは、一般家庭ではどこから電気を買うかは既存の電力会社1社に限られていました。それがこれからは、どんな電力会社を選ぶか、自由に選べるようになったのです（ただし一括受電契約をマンション単位でしている場合等はできませんし、電力会社の営業地域によっては電気を買えない場合もあります）。

自由化にともない、新しい電力会社も次々に設立されています。この4月1日現在、大手の既存電力会社を含めて、280もの事業者が、電気小売事業者として経産省エネルギー庁に登録されています。営業地域が関西でなかったり、一般家庭向けに事業を行っていなかったりする事業者もありますので、これらのどこからでも好きな電力会社を選べるわけではありませんが、選択肢が大きく広がったことは間違いありません。

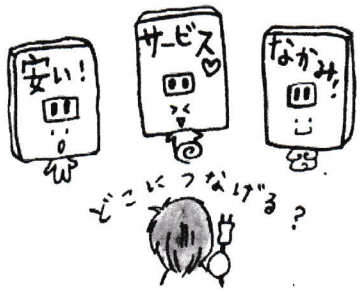
では、私たちは、この暮らしに欠かすことのできない電気をどこから買えばいいのでしょう？　もちろん、何もしなければ今までどおり既存の電力会社から電気を買い続けることになります。でも、せっかく選べるようになったのですから、ライフスタイルやエネルギーに対する思いに少しでもあった電力会社を選びたいものです。

ところで、私たちはどうして数ある生協の中から生活クラブを選んで利用しているのでしょう？　自宅に配達してくれて便利だから？



それは他生協でも同じこと、みなさんが利用している理由の一つには、やはり「消費材の中身の確かさ」があるのではないでしょうか。生活クラブの消費材はよく「安心・安全」と耳にされると思います。単純にそういい切れますか？　小麦アレルギーの方にとって消費材のパンは「安心・安全」ではありませんよね。しかし、生活クラブの消費材は原料が何か、どこから仕入れたか、生産者が誰か、製法がどうか…等、私たちの手元に届くまでのあらゆる情報が開示されています。だから小麦アレルギーの方は、「安心して」パンを避けることができるのです。まず大前提として「中身の確かさ」があり、それが「安心・安全」につながっているのです。

そこで話を電気に戻します…。食べ物もエネルギーも、私たちの命・暮らしにかかすことはできません。食べ物は口に入るものだから気を遣いたいけれど、電気となるとどうでしょうか？



クリーンなイメージがあるので実感しにくいですが、火力発電ではCO_2（二酸化炭素）、原子力発電では放射性廃棄物など、対処の非常に難しい、いろいろな「ごみ」が出されています。将来にツケを残さない電気を選択したい…そういう思いは組合員の皆さんなら理解していただけるのではないでしょうか？

株式会社生活クラブエナジー（以下エナジー）は、2014年に全国の34の生活クラブと連合会が出資して、電気の共同購入のために設立した生活クラブの電力会社です。エナジーが供給する電気は、中身つまり電源構成（＝その電気はどこから電源を調達したか）が明らかであり、毎月契約者に届く請求明細書にきちんと表示されます。そしてもちろん、環境負荷の少ない、自然エネルギーの割合が高い電気です。現時点では調達に限りがあるため、自然エネルギーの割合は30～60%となりますが、将来的には100%を目指していきます。

こうした生活クラブの電気の共同購入の呼びかけは、食べ物と同じようにエネルギーも、私たちの次の、そのまた先の世代までも利用し続けていけるように…！の思いから取り組んでいるものなのです。「今さえよければではない、これからも」の思いが頭をかすめた時、あなたが選ぶ電力会社はどこになるでしょうか…？

（理事　佐藤美紀）